

成果の説明書

(氏名) 高橋 美佐	(学部) 地域政策学部
<p>1 重要事項 (研究・教育)</p> <ul style="list-style-type: none">・数値実験による標本抽出法の有効性の評価 統計調査や観測の際の標本データの収集では、採取可能な標本数など実施上の制約のもとで抽出誤差を抑えるために層別抽出や系統抽出などの方法を採用することが多い。母集団の統計的性質と各抽出法による抽出誤差との関係は理論的に明らかであるが、あらゆる場合においてこれらの抽出法の有効性が保証されているわけではない。数値計算により単純抽出法に比べてこれらの抽出法が優位とならない場合があること示し、地域、年齢、性別などの多数のカテゴリーからなる現実的データでの数値実験を通してこれらの抽出法の有効性について評価・検討した。・地域政策研究のための数理的手法の紹介 地域政策について研究したり、地域の問題を検討するための数理的手法について、初学者向けに解説をおこなった。数学をあまり得意としない学生の多い学部授業でのこれまでの経験や工夫を取り入れた。・高橋美佐 (2018)「地域政策とオペレーションズ・リサーチ (1) -Excel による数理最適化入門-」『日本地域政策研究』 Vol.21.pp.74-79.・高橋美佐 (2019)「地域政策とオペレーションズ・リサーチ (2) -得意値による相対評価：データ包絡分析法 (DEA) 入門-」『日本地域政策研究』 Vol.22.pp.78-81.	
<p>2 その他の事項 特になし</p>	
<p>3 次年度以降の計画・抱負 (研究)</p> <p>本年度の数値実験による標本抽出法の有効性評価に関する結果をまとめて発表する。さらに、時系列データなどいくつかのバリエーションについての系統的な実験をおこない、調査対象の特性や標本抽出の実施上の諸要件と抽出方法の有効性に関する知見を得たい。また、アドホックネットワークに関する過年度の研究成果についても早急にまとめる。</p> <p>(教育)</p> <p>ゼミナールにおいて、テキストによる理論の学習からシミュレーション実験を利用して現実的環境下での課題解決の実践につなげるプログラムを試みている。実践課題用の教材の充実を図りたい。</p>	